クックフードル取付説明書（施工編）

HJ90-M1･M2･M3

取り付け方法 （取り付けを始める前に、裏面掲載の付属品を確認してください。）

1 取り付け前の確認

（1）施工前の準備
1．裏面「安全編」の安全上のご注意や取付時のご注意などを良く読んで施工して下さい。
2．裏面「安全編」の最下段に記載されている付属品が全て揃っている事を確認して下さい。
※別売り部品を購入した際は一緒に確認して下さい。

注１）製品を取り扱う際は薄板の切り口などで手を切る恐れがありますので、必ず厚手の手袋を着用して下さい。
注２）製品を取り付ける際は慎重に行い、傷・変形の無いように注意して下さい。

（2）取り付け壁面の確認
※取り付け壁面は、製品を支える強度が必要です。
製品の重量を支持できる丈夫な場所に設置してください。
（製品重量：23Kg【面材別】）

1．積層板張りの場合
板厚が20mm以上の場合は直接取り付けてください。
板厚が20mm以下の場合は、壁に補強材を埋め込んでください。
注）積層板張りの場合は、必ずフード本体と取り付け壁面の間に、9mm以上の不燃板を取り付けてください。
2．コンクリート．レンガ壁の場合
あらかじめ補強材を壁に埋め込んでおくか、付属のアンカープラグをご使用ください。
3．ＧＬ壁の場合
本体の取り付け位置にφ150mm 程の穴を開け、その穴にモルタルを積め込み平ゴテにて表面を石膏ボード面に仕上げ、翌日以降に付属のアンカープラグを使用して取り付けてください。
4．土壁の場合
補強材をあらかじめ柱などに固定し埋め込んでください。

※製品と壁面との固定ねじは長さ30mmのねじが付属されています。仮止めや最終固定時には製品重量を支えることが出来る部分（木部など）まで確実に届いている事を確認して下さい。届いていないと製品が確実に固定できず、落下や振動の原因になります。届いていない場合は石膏ボード等の厚みを計算し、付属のねじ（長さ30mm）よりも長いものを使用して下さい。

（3）排気ダクト管の確認（図1）
1．上方排気及び後方排気
フード本体の中心の天井裏及びフード本体の中心の壁面にφ150mmのステンレス、又はスパイラル管がきているか確認ください。

（4）電源コンセントの確認（図2）
1．コンセントは、専用のアース付３芯コンセントを使用してください。

図1

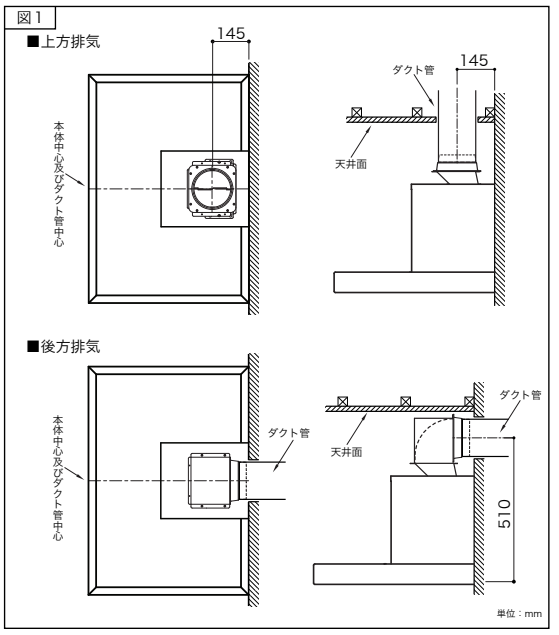
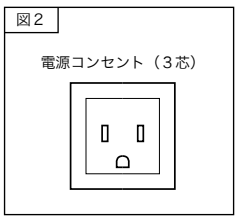


図2



2 製品の取り付け準備

（1）スミ出し
1．本体の中心位置を出す。
2．天井高及び使用される方の身長を考え、調理器具上面からフード下端までを80cm以上とし本体下端位置を出す。
※火災予防条例により隔離距離が80cm以上と定められています。
3．天井面及び壁面に、排気ダクト管を通す穴の中心を出す。

（2）天井面、壁面の穴開け
1．天井面及び壁面に、排気ダクト管（φ150mm）を通す穴を開けます。

（3）本体仮止め用ねじの取り付け
1．本体仮止めねじ（φ4×30）を所定の位置に取り付けます。本体仮止めねじは壁面から10mmまで締め付けてください。（図３）

（4）後方排気の場合
1．パイプアダプターの取り付け
Ｌ型ダクト（別売部品）のツメに 、パイプアダプター 又は 排気電動シャッターが掛かるように設置し付属のねじ（M4×10）で固定して下さい。（図４）

図3

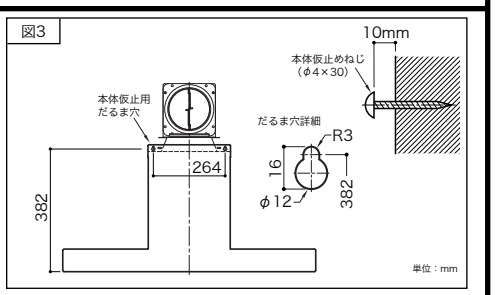
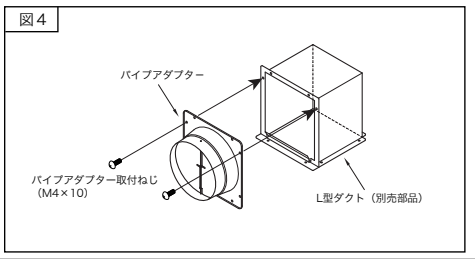


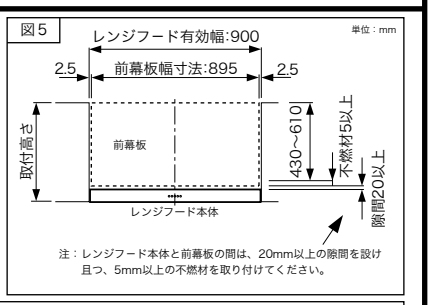
図4



3 前幕板及び横幕板の準備

（1）前幕板寸法の確認
※前幕板の幅及び高さ寸法は、図５に従って決定してください。
1．前幕板の幅寸法の決定
前幕板の幅寸法は、レンジフードの有効幅（900mm）から5mmマイナスした寸法にしてください。
※前幕板１枚の場合＝レンジフード有効幅：900mm―5mm＝895mm
前幕板幅寸法＝895mm
※前幕板２枚の場合＝（レンジフード有効幅：900mm―5mm×2枚）÷2＝445mm
１枚の前幕板幅寸法＝445mm（2枚用意してください。）
2．前幕板の高さ寸法の決定
前幕板の高さ寸法は、取付高さから本体厚み（80mm）・隙間（20mm以上）・不燃材（5mm以上）をマイナスした寸法に設定してください。
※レンジフード本体に直接前幕板を設置するのは火災予防条例により禁止されています。

図5



（2）前幕板の穴あけ
※図に従って開けてください。（図６）

（3）蝶番、戸当りの取り付け
1．戸当りの取り付け
前項で開けた穴（φ5×深10×2ヶ所）に付属の戸当りを打ち込みます。
2．蝶番の取り付け（図７）
前項で開けた穴（φ5×深12×8ヶ所）に付属の蝶番取付用ソケットを打ち込みます。
次に蝶番はめ込み穴（φ35×深12×4ヶ所）に蝶番をはめ込み付属の蝶番取付ねじにて固定します。

（4）横幕板を使用する場合
1．固定用L金具の取り付け
別途ご用意された横幕板に付属の固定用L金具を所定の位置に取り付けます（図８）

図6

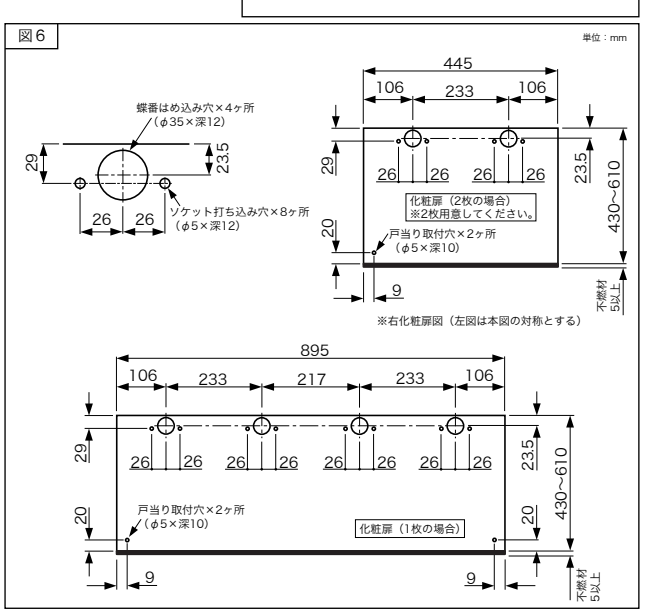


図7

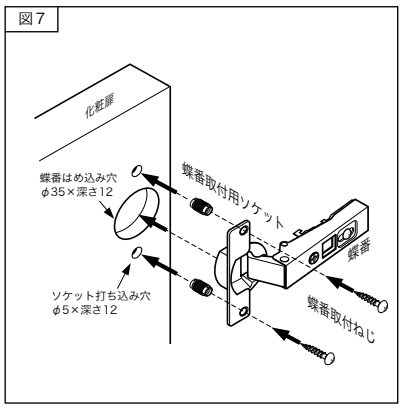
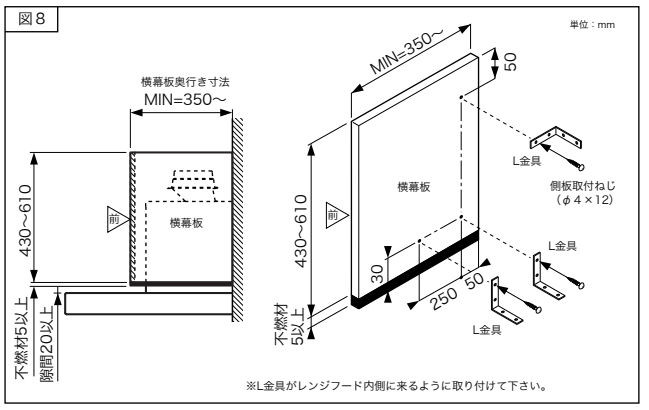


図8

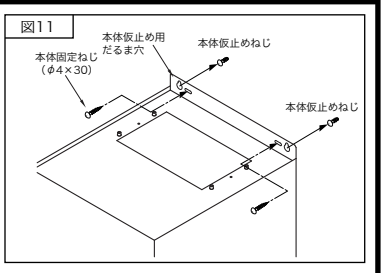


4 本体及び化粧扉の取り付け

（1）準備・
整流板の取り外し・
1．整流板を両手でしっかりと支え、整流板と本体の隙間に指を入れ、前面にある左右の取り外しボタンを押します。（図15の逆）
2．整流板を手前にゆっくりと降ろします。
3．整流板を持ち上げ、整流板吊金具から整流板を取り外します。（図９）
グリスフィルターの取り外し・
1．ハンドルを持ちながらクリップキャッチを引き、グリスフィルターを取り外します。（図10）

（2）本体の取り付け
1．事前に取り付けた本体仮止めねじに、本体の仮止め用だるま穴を掛けて取り付けます。（図11）
2．付属のねじ（φ４×30）2本にて、本体を固定します。仮止めねじもしっかりと締め付けてください。（図11）

図11



（3）排気ダクト管の接続
【上方排気の場合】
1．付属品の排気接続アダプターを本体の上に、付属のねじ（M４×10）2本で取り付けます。（図12）
2．取り付けた排気接続アダプターの上に、パイプアダプターを付属のねじ（M４×10）４本で固定します。（図12）
3．φ150mmのダクト管（ステンレス又は、スパイラル管）の先端を、天井面のダクト穴に通してから本体のパイプアダプターの接続口までダクト管をおろして接続しアルミテープで固定してください。
【後方排気の場合】
1．付属品の排気接続アダプターを本体に、付属のねじ（M４×10）2本で取り付けます。（図13）
2．取り付けた排気接続アダプターに、前項で用意したＬ型ダクトを付属のねじ（M４×10）４本で固定します。（図13）
3．φ150mmのダクト管（ステンレス又は、スパイラル管）の先端を、壁面のダクト穴に通し、本体のパイプアダプターの接続口と接続し、アルミテープで固定してください。
※排気電動シャッター（VE１５０）を使用する場合は、付属の取付説明書を参考に接続してください。
※後方排気の場合は排気電動シャッターを使用する事が出来ません。

図9

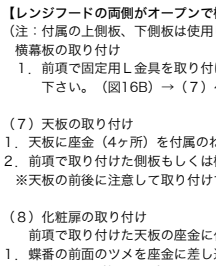


図10

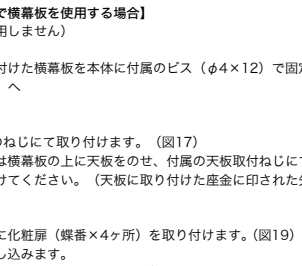


図12

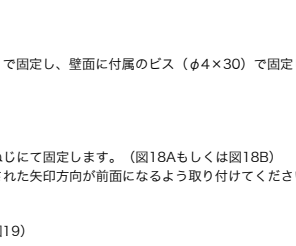
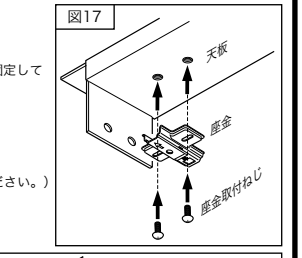


図13



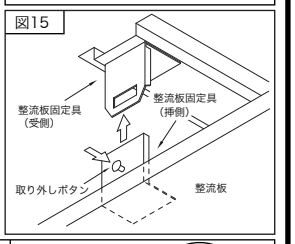
（4）本体の最終固定及び、付属品の取り付け
1．内部の配線を傷付けないように、本体の最終固定を付属のねじ（φ４×30）３本にて行なってください。（図14）・
2．グリスフィルターを取り付けてください。（前項図10参照時の逆の手順）

図14

（5）整流板の取り付け
1．手前に整流板固定具（挿側）が来るように整流板を持ち、本体奥の整流板吊金具に整流板を吊り下げます。（図９の逆）
2．整流板を両手でしっかりと支えながら押し上げます。整流板固定具の受側と挿側が合わさった状態でさらに押し上げると音がしてロックが掛かります。（図15）
3．ゆっくりと手を降ろしながら、整流板が本体に固定されている事を確認して下さい。
※整流板を取付けた後、軽く整流板を前後左右上下に動かして完全に固定されている事を確認して下さい

（6）上側板・下側板及び天板の取り付け
【レンジフードの両側が隣接ユニットもしくは壁の場合】
下側板の中に上側板をセットして、隣接ユニットの側板もしくは壁面に付属の側板取付ねじにて固定します。（左右両方取り付けます。）上側板をスライドさせることで、高さ430mm～610mmの間で任意の高さに調整します。（図16A）
1．側板の下端は、レンジフード本体上端から20mm空けて取り付けます。
2．側板の前面は、壁より350mm以上の任意の位置にあわせます。
3．側板の上端は、隣接ユニット上端より1mm下がった所に合わせて取り付けます。（天板の板厚分下げて取り付けます。）
注：最終の固定は、横方向の長穴に固定ねじを取り付けます。 →（7）へ

図15



【レンジフードの片側がオープンで横幕板を使用する場合：片側は隣接ユニットもしくは壁】
（注：横幕板を固定する側は上側板、下側板を使用しません）
下側板の中に上側板をセットして、片方の隣接ユニット側板もしくは壁面に付属の側板取付ねじにて固定します。上側板をスライドさせることで、高さ430mm～610mmの間で任意の高さに調整します。（図16A）
1．側板の下端は、レンジフード本体上端から20mm空けて取り付けます。
2．側板の前面は、壁より350mm以上の任意の位置にあわせます。
3．側板の上端は、隣接ユニット上端より1mm下がった所に合わせて取り付けます。天板の板厚分下げて取り付けます。）
注：最終の固定は、横方向の長穴に固定ねじを取り付けます。

横幕板の取り付け
1．前項で固定用Ｌ金具を取り付けた横幕板を本体に付属のビス（φ4×12）で固定し、壁面に付属のビス（φ4×30）で固定して下さい。（図16B）→（7）へ

図16A

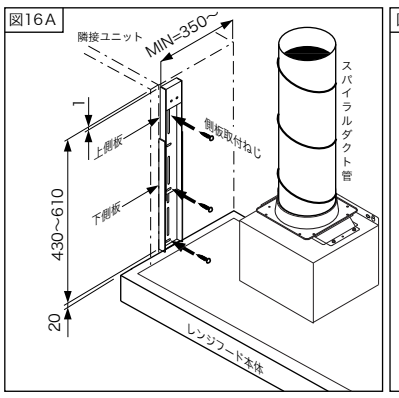
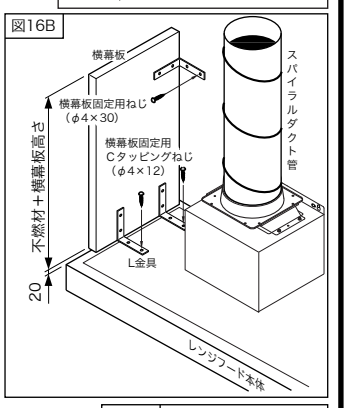


図16B



【レンジフードの両側がオープンで横幕板を使用する場合】
（注：付属の上側板、下側板は使用しません）
横幕板の取り付け
1．前項で固定用Ｌ金具を取り付けた横幕板を本体に付属のビス（φ4×12）で固定し、壁面に付属のビス（φ4×30）で固定して下さい。（図16B）→（7）へ

（7）天板の取り付け
1．天板に座金（4ヶ所）を付属のねじにて取り付けます。（図17）
2．前項で取り付けた側板もしくは横幕板の上に天板をのせ、付属の天板取付ねじにて固定します。（図18Aもしくは図18B）
※天板の前後に注意して取り付けてください。（天板に取り付けた座金に印された矢印方向が前面になるよう取り付けてください。）

図17

（8）化粧扉の取り付け
前項で取り付けた天板の座金に化粧扉（蝶番×4ヶ所）を取り付けます。(図19)
1．蝶番の前面のツメを座金に差し込みます。
2．蝶番の後ろ（矢印部分）を押すと、蝶番の後面のツメが座金の穴にはまり込み取り付けができます。
※化粧扉（蝶番）の取り外し方は、蝶番の後ろ（矢印部分）を押すと簡単に座金から蝶番が外れます。この時、必ず化粧扉を持って作業を行ってください。化粧扉が落下して危険です。

（9）化粧扉の調整
化粧扉（蝶番）を取り付けたら化粧扉の調整を行ってください。(図20)
1．かぶせ量の調整は、ねじＡを時計方向に回すと扉の天板へのかぶせ量が少なくなり、反対に回すと大きくなります。
2．前後の調整は、ねじＢを時計方向に回すと後ろに、反対に回すと前に調整できます。
3．左右の調整は、座金を固定しているねじＣをゆるめて座金ごと蝶番を左右に動かして調整します。調整後、ねじＣを必ずしっかりと締めてください。

図18A

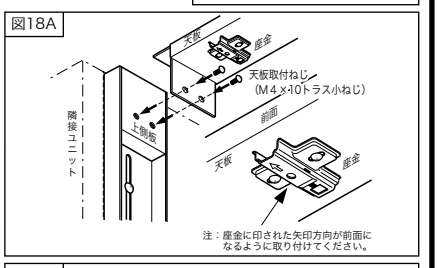


図18B

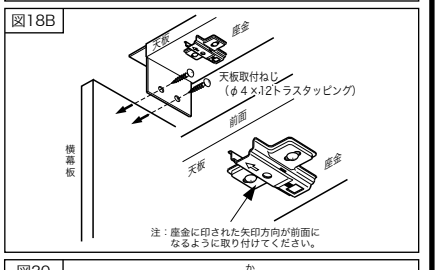


図19

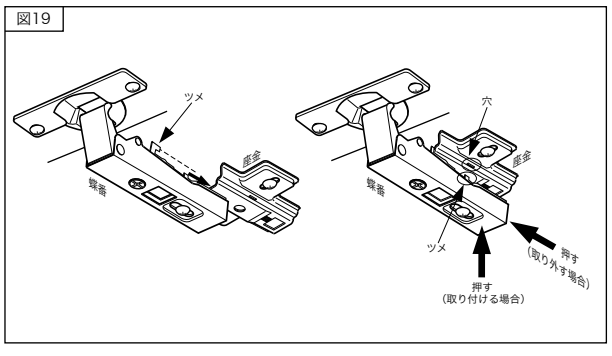
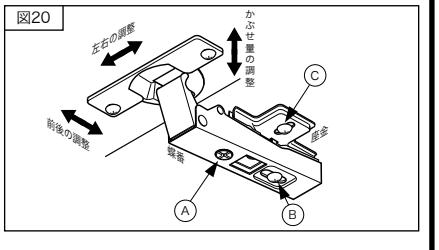


図20



5 試運転

※運転時にファンの中に手や物を入れないでください。怪我・故障の恐れがあります。

（1）本体の操作を「取扱説明書」[ご使用のしかた]に従って正常に作動するか確認して下さい。
※電動シャッターを取り付けた場合、シャッターが開いてから運転を開始します。
その為、スイッチを入れてから約２～３秒後にファンが回転し始めますが故障ではありません。
（2）リモコンスイッチがある場合は、上記の操作がリモコンでも出来るか確認して下さい。(電池は別途購入して下さい。)
（3）運転時、異常な騒音や振動が無いことを確認して下さい。
（4）屋外の排気口より、排気されているか確認して下さい。
（5）弊社製の排気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
（6）弊社製の給気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動して開閉し、下部飾り筒のスリットより給気されているか確認して下さい。
（7）他社製の給気電動シャッターを取り付けた場合は、本体スイッチと連動し開閉しているか確認して下さい。
（8）取付上、施工上に発生した不具合でメンテナンスを依頼される場合、保障期間内であっても有料となりますのでご確認下さい。

※上記作業が終わりましたら、この取付説明書はお客様にお渡し下さい。

クックフードル取付説明書（安全編）

安全上のご注意 (必ずお守りください)

■この説明書は安全上、特に注意していただきたい内容についてとりあげたものです。この[安全上のご注意]をよくお読みのうえ製品を取り付けてください。
■具体的な取付方法については、取付説明書（施工編）をご覧になってください。

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けて、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警 告：人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注 意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- このような絵表示は、してはいけない【禁止】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

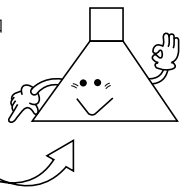
- この絵表示は、必ず実行していただく【強制】内容です。
- 図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

絵表示の例	
	：左図の場合は、“分解禁止”が描かれています。
	：左図の場合は、“電源プラグをコンセントから抜いてください”が描かれています。

⚠ 警 告

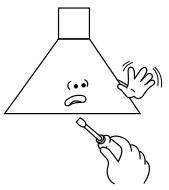
●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に本体、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること。
漏電した場合、発火したり感電することがあります。
取付注意

●効率よく排気させるには、空気の取り入れ口（給気口）を設けること。とくに密閉された厨房には、ø150㎜以上の給気口を用意してください。（寒冷地では、電動シャッター付給気扇をご使用ください。）



取付注意

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないこと。発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

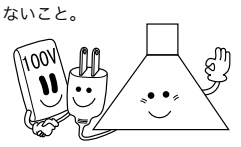


分解・修理
改 造 禁 止

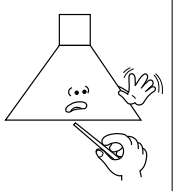
⚠ 注 意

●本体の取り付け及び、部品の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行なうこと。
落下によりけがをすることがあります。
取付注意

●交流100V以外では使用しないこと。
火災や感電の原因となります。
使用禁止

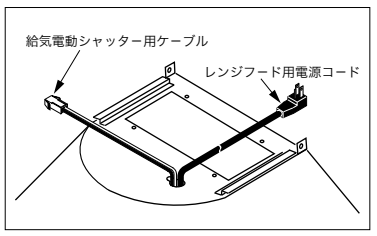


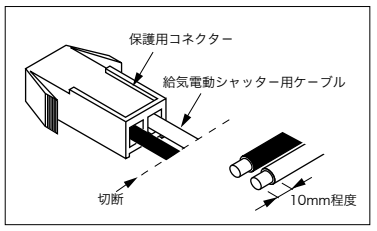
●運転中は、羽根の中に指や物を絶対に入れないこと。
けがをすることがあります。
接触禁止

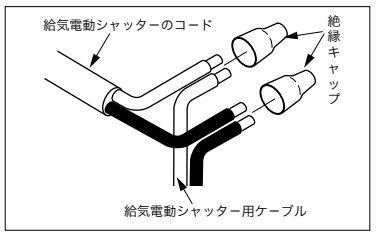


●電気工事は必ず電気工事店に依頼すること。電気設備技術基準や内線規定に従って安全確実に行なうこと。
誤った電気工事は感電や火災の恐れがあります。
取付注意

給気電動シャッター用ケーブルの接続 (他社製品の場合)







※排気用ファン（レンジフード）と給気電動シャッターを連動させるには、給気電動シャッター側のコードと、給気電動シャッター用ケーブルを接続してください。(接続方法は、下記の要領で行なってください。)

1．給気電動シャッターのコードと給気電動シャッター用ケーブルの接続
（1）給気電動シャッター用ケーブルの保護用コネクター側のケーブルを、ニッパ、ペンチ等で切断し、ケーブルの被覆をめくります。この時、ケーブルの被覆をめくる長さは、10mm程度にします。

（2）給気電動シャッターのコードと、給気電動シャッター用ケーブルとを絶縁キャップで、圧着して接続します。

注：給気電動シャッターのコード及び、給気電動シャッター用ケーブルの被覆をめくる長さは、絶縁キャップよりはみ出ない様にしてください。

2．試運転
※レンジフードの電源コードを仮設コンセントに差し込んで試運転を行い、下記の内容を確認ください。
（1）レンジフードスイッチの ON/OFFボタンを押して、レンジフードファン（排気ファン）と給気電動シャッターが連動して作動するか確認してください。

●レンジフードスイッチ（ Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ）のどの位置でも、給気電動シャッターは作動します。又、給気電動シャッターは３Ａ以内のものをご使用ください。
●給気電動シャッター用ケーブルは、入力用電源コードではありませんので、給気電動シャッター以外には、ご使用にならないでください。負荷がかかり過ぎるとスイッチ本体が故障する危険があります。

※弊社製品の場合は「給気電動シャッター」取付説明書の取付方法を参考に接続してください。

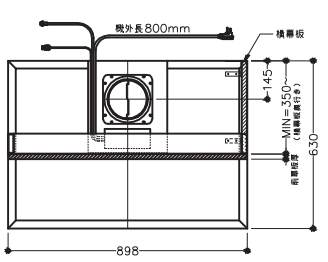
取付け時のご注意

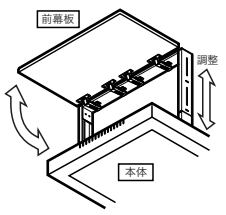
※排気工事をされる場合、建築基準法（同施工法）および消防法等の関連法規に合わせて施行ください。

1．レンジフードの取り付けは、建物の金属部（壁内ラス網等）と接触しないように、十分注意して工事してください。なお、本体の埋込みは、絶対にやめてください。壁内のラス網に漏洩電流がある場合、本体に流れてきます。
2．取り付け高さは、ガスレンジの真上80cm以上になるようにしてください。低すぎると、お台所仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因にもなります。
3．レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また横方向は50Cm以上離してください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。
4．ガスレンジ幅はレンジフードファンの幅以内のものをご使用ください。
5．非常に長いダクトあるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますのでご注意ください。
6．レンジフードの重量は約23Kg（仕様により異ります）です。取り付け前に取付部の強度をよく確かめてください。取付部の強度が弱いと落下したり、振動の原因となりますので、補強工事をしたのちに製品を取り付けてください。
7．室温が40˚C以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり、感電する恐れがあります。またスイッチ部分やモーターなどがいたんだりすることがあります。
8．スイッチの改造等仕様を変更してのご使用はさけてください。
9．効率よく換気させるため、排気用ダクトの大きさ以上の空気取り入れ口を部屋の反対の位置に設けてください。とくに、寒冷地などの気密性の高い部屋で、自然排気型のストーブをご使用の時は、空気がストーブ排気口より逆流し危険な燃焼状態になる恐れがありますので、フード付きガラリなどにより、十分給気される配慮をしてください。
※当クックフードルは、給気電動シャッター用ケーブルがついております。必要に応じてご使用ください。（具体的な接続方法については、取付説明書の“給気電動シャッター用ケーブルの接続”をご覧になってください。）
10．部屋の中央で料理される場合は、捕集しきれませんので、台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
11．取り付け後、天井、壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体に保護材を被せてください。

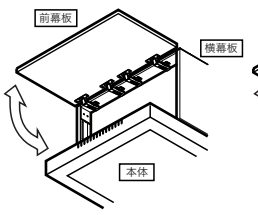
製 品 寸 法 図

本図は【品番：HJ90-M2】
単位：mm

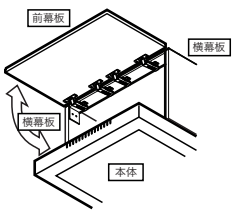




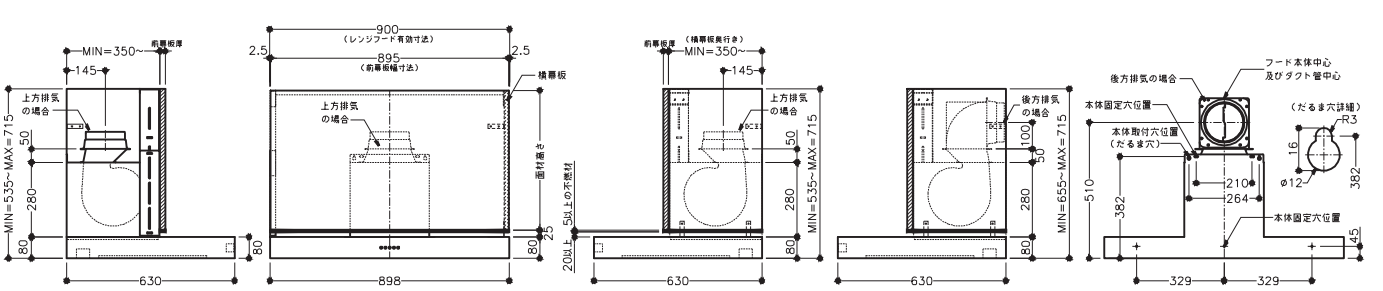
M１：前幕板タイプ
（両側が吊戸 or 壁）



M２：前幕板+片横幕板タイプ
（片側が吊戸 or 壁）

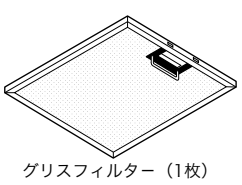


M３：前幕板+両横幕板タイプ

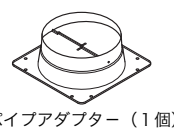


・本図はレンジフード右側がオーブンで横幕板を取り付ける図とする。（M２タイプ）
※両側が吊戸又は壁の場合（M１タイプ） ※両側がオーブンで横幕板を取り付ける場合は（M３タイプ）

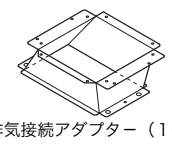
付 属 品



グリスフィルター（1枚）



パイプアダプター（１個）
（逆風防止シャッター付）

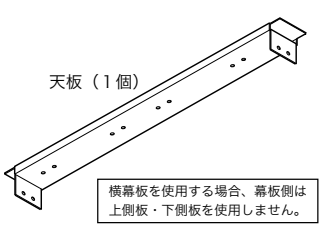


排気接続アダプター（１個）

ネジ（ø４×10）
予備×1本

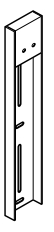
ネジ（M4×10）
パイプアダプター取付用×４本
排気接続アダプター取付用×２本・
予備×1本

ネジ（ø4×30）
本体仮止め用×２本・
本体固定用×２本
最終固定用×３本
予備×1本
（アンカープラグ付）



天板（１個）

横幕板を使用する場合、幕板側は上側板・下側板を使用しません。

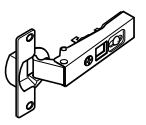


上側板
（左右対称２個）

下側板・
（左右対称２個）

座金（4個）

座金取付ねじ
（M４×12：８本）
※トラス小ねじ



蝶番（４個）

蝶番取付用ソケット（８個）

蝶番取付ねじ
（ø４×12：８本）
※丸皿タッピングねじ

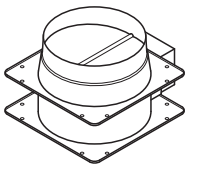
化粧扉用戸当り（２個）

仕様により付属品が異なります

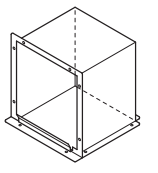
種類 / 品番	【天板取付ねじ】		【上下側板取付ねじ】	【横幕板固定用】		
	（ø４×12）トラスタッピングねじ	（M４×10）トラス小ねじ	（ø４×12）トラスタッピングねじ		（ø４×30）トラスタッピングねじ	（ø４×10）Cタッピングねじ
M１	なし	４本	６本	なし	なし	なし
M２	２本	２本	３本	３枚	１本	２本
M３	４本	なし	なし	６枚	２本	４本

別 売 部 品

排気電動シャッター
（品番：VE150）



後方排気用L型ダクト
（品番：SLP150）



Cook Hoodle®
Yamazen Co.,Ltd.
-OCT012010HJ90M-